

## 令和3年度事業の検証結果について

基本目標 1	次世代を担う人づくり	P3～P4
基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	P5～P10
基本目標 3	個性と魅力あふれるまちづくり	P11～P16
基本目標 4	地域力の高いまちづくり	P17～P23
基本目標 5	まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり	P24～P25

事務事業マネジメントシートで行った分析の評価基準は次のとおり。

事業分析点数表

評価項目：	目的の妥当性	評価内容：	1. 妥当である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が関与すべき範囲か</li> <li>・対象と意図は現行でよいか</li> <li>・適切な目標設定か</li> </ul>		2. ほぼ妥当である	10点
			3. あまり妥当ではない	5点
			4. 妥当でない	0点
評価項目：	事業有効性	評価内容：	1. 有効である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果の向上につながっているか</li> <li>・同じ目的を持つ他の事務事業はないか</li> </ul>		2. ほぼ有効である	10点
			3. あまり有効ではない	5点
			4. 有効でない	0点
評価項目：	資源投入の効率性	評価内容：	1. 効率的である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施手法は効率的か</li> <li>・高い費用対効果が得られているか</li> <li>・外部委託の可能性はないか</li> </ul>		2. ほぼ効率的である	10点
			3. あまり効率的ではない	5点
			4. 効率的でない	0点
評価項目：	サービス公平性	評価内容：	1. 公平である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象は適切か</li> <li>・受益者負担は適正か</li> </ul>		2. ほぼ公平である	10点
			3. あまり公平ではない	5点
			4. 公平でない	0点
評価項目：	効果の達成度	評価内容：	1. 90%以上	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初想定していた効果は得られたか</li> </ul>		2. 70%程度	10点
			3. 50%程度	5点
			4. 30%以下	0点

# 基本目標 1 次世代を担う人づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
教育委員会	「勝浦町」への誇りを醸成	●恐竜事業 恐竜を核としたイベントを開催し魅力の発信	恐竜月間イベント参加者数	1400人	1400人	1400人	1400人	1400人	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7～8月恐竜フェスティバル開催</li> <li>子ども恐竜化石サミットinむかわ 参加</li> <li>町恐竜発掘活性化協議会への参加</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・イベントは関係団体及び町民の協力を得て実施している。より多くの参加者・来場者で賑わうよう、またイベントが一過性に終わるのではなく交流がより深まるよう事業内容を工夫</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>子どもたちが夢を見つけ、追いかけて、叶えられる教育や、ずっと住み続けたい、将来戻ってきたいと思える環境づくりを進めるとともに、恐竜を核としたまちづくりを推進し地域の活性化を図るため今後も実施する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	10	15	60/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	5	10	15	60/75																
3218人																					
教育委員会	「勝浦町」への誇りを醸成	●100年先を創る起業家育成事業 児童が主体的に考え実践する力を培うために、地域住民や専門家と関わりながら、地域の課題に取り組み、課題解決を図り、判断力や実行力を育てる。また、学習成果を学習発表会等で披露し、評価をもらい児童の自己肯定感を高める。	学習成果発表回数	1回	1回	-	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>「総合的な学習」の授業時間に、各学年で学習活動テーマを決め実践する。</p> <p>○学習活動内容</p> <p>【3年】勝浦みかん応援歌を作詞しCDの作成</p> <p>【4年】SDGs学習からのみかんの皮でエコバッグ作成</p> <p>【5年】米作り学習「田んぼアートで勝浦町をPR」する。収穫した古代米は地元ケーキ店とコラボし古代竜クッキーを作成。</p> <p>【6年】恐竜グッズ考案、恐竜キーホルダー作成。</p> <p>【横小マルシェの開催】3年生のみかんCD、4年生のみかんエコバッグ、5年生古代竜クッキー、6年生の恐竜キーホルダーをよってネ市で販売し、売上金で勝浦病院に歩行者3台を贈呈した。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町立小学校2校のうち、1校からの希望があり県採択後実施した。全ての学校での取組みができればよいが、学校体制の違いや、学校カラーの違いにより同じにならないため偏りができてしまう点は今後検討が必要である。</p> <p>・児童の自己肯定感は、学校評価での児童アンケートで14%向上がみられるなど効果があった。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	10	15	70/75																
1回																					

基本目標 1 次世代を担う人づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
								<p>【今後の方向性】 R4まで 徳島県の委託事業に採択されての実施であったが、学校評価において、実施目的であった児童の自己肯定感に伸びが見られるなど成果が上がっている。令和4年度も県事業に採択していただいたが、今後も継続して実施する場合は、県の委託金の動向により、場合によっては、単費の投入が必要である。</p>													
教育委員会	教育環境の整備	<p>●ICT支援員の配置</p> <p>ICT環境等の整備を行い、情報教育の更なる推進を図ること。</p>	配置人数	1人	1人	1人	1人	1人	<p>【R3実施結果】 9月から1名配置 配置日数 週3回</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>妥当性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> <th>達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町内在住の経験が豊富な者へ業務を直接委託しているため、外部委託ではなく、学校より非常に助かっているという声もあり、費用対効果は高いと考える。 ・各校週1回を基本として、緊急で派遣が必要な場合は対応するという同条件のもと配置しているため、公平性は保たれている。 ・当初は年度初めから配置することを想定していたが、人材確保に時間を要し、9月からの実施となった。</p> <p>【今後の方向性】 生比奈小学校、横瀬小学校、勝浦中学校でのICT支援員の業務従事時間について、令和3年度は1校あたり週1回、2時間であったが、学校の要望等もあり、令和4年度は1校あたり週1回、4時間に増やした。 令和4年度の状況を踏まえて、学校と協議を行い、令和5年度以降の方向性を決定していく。</p>	妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	合計	15	15	10	15	10	65/75
妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	合計																
15	15	10	15	10	65/75																
教育委員会	豊かな心を育む教育の充実	<p>●職場体験</p> <p>本町の主産業となっている農業の体験を含めた多様な職場体験等の機会やキャリア教育の充実を図り、未来に向けて夢を育める子どもたちを育成する。</p>	職場体験の体験職場数	24箇所	24箇所	24箇所	24箇所	24箇所	<p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験については実施していない。</p>												

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	橋梁の長寿命化	<p>●星谷橋架け替え事業</p> <p>星谷橋は、架設後60年以上が経過した橋梁であり、主要部材の劣化が著しく進行していることから、大規模更新を行い道路の安全性を確保する。</p>	事業進捗	地元説明	測量設計	調査設計	用地取得	工事着手	<p>【R3実施結果】</p> <p>R3.5月に星谷，生名区や関係者への計画概要の説明を実施</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ライフサイクルコストを精査した結果、架替を選択。</p> <p>・町道星谷中央線（星谷橋）は勝浦川兩岸を通る県道をつなぐ路線であり、地域住民の生活道路であるほか、通学路に利用されるなど重要な生活道路である。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>星谷橋架け替えには多額の費用が見込まれることから、有利な財源の確保に努めるとともに、地域住民へ丁寧な説明を行い、スムーズな事業執行を目指す。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	0	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	15	0	60/75																
説明会実施																					
教育委員会	公共交通の維持	<p>●高校生の通学支援の確保</p> <p>公共交通機関のない阿南方面への通学手段確保</p>	乗車延べ人数	1205人	1200人	-	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>阿南方面バス運行支援補助金 1,544千円 乗車延べ人数 1,542人</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・公共交通機関のない阿南方面への通学手段を確保し高校等進学時の選択肢が広がるとともに保護者負担の軽減</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>本事業については、阿南方面に通学する高校生等のみが対象となり、その中でも本事業を活用できない方もいるなど、「公平性」という面が課題となっている。こうしたことを受け、本事業の実施は令和4年度までとし、令和5年度からは、高校生全般への支援策を実施する方針としている。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	10	15	70/75																
	1542人		-	-	-																

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	交通困難者対策	<p>●地域公共交通体制整備事業</p> <p>日常生活での移動を支える交通手段を維持・確保するため、新たな地域公共交通ネットワークを構築し、生活利便性の向上を図る。</p>	地域公共交通体制の整備	100%	100%	100%	100%	100%	<p>【R3実施結果】</p> <p>路線バス廃止区間においては、昨年度に引き続き路線バス廃止区間移動支援助成事業を実施。</p> <p>新たな公共交通体制整備については、検討委員会を立ち上げ、第1回検討委員会にて現状の洗い出し、運行形態に関する協議を行った。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の交通手段の確保、利便性向上を目的としているため、目的は妥当である。</li> <li>・検討委員会にて体制整備に係る検討を行っているため、成果の向上につながっていると考えるが、類似した事業等も複数見受けられるため次年度以降精査が必要である。</li> <li>・路線バス廃止区間（坂本・与川内地区）居住者には公平にサービスを提供している。</li> <li>・新たな公共交通体制の整備ができていないため、効果の計測が出来ない。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>新たな公共交通体制の整備に向けて、現状課題の洗い出し及び運行形態の決定等を実施し、応急的に実施している路線バス廃止区間移動支援助成事業の改良等を実施する必要がある。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	15	0	50/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	10	15	0	50/75																
30%																					
福祉課	交通困難者対策	<p>●福祉移送事業</p> <p>地域で自立した生活が送れるよう、社会生活上不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援し、地域における自立生活と社会参加を促すとともに福祉の増進を図る。</p>	登録人数	80人	80人	85人	85人	90人	<p>【R3実施結果】</p> <p>登録人数 77名 延べ利用人数 526名</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内での移動手段の一つで、外出などの移動支援ができています。</li> <li>・対象などは無く、誰でも使えるサービスとなっている。</li> <li>・多くの方が、リピートして利用してくれています。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>たくさんの方に知っていただけるよう、広報等で周知する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	15	10	70/75																
77人																					

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	土地利用の推進	<p>●宅地造成事業</p> <p>住環境の向上やコミュニティの維持を目的として宅地を整備・分譲する。</p>	事業進捗	調査	造成工事	販売、調査	用地確保	造成工事	<p>【R3実施結果】</p> <p>横瀬地区造成工事に着手</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>40/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・H28～29年度に三溪（前川地区）で4区画、H30年度に沼江地区で3区画をそれぞれ分譲し、効果的に土地利用が推進できている。</p> <p>・新築を検討している人のみが対象となるため、対象者が限定される。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>令和4年度内に造成工事を完了し、早期に分譲できるよう情報発信に努める。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	5	0	40/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	5	5	0	40/75																
調査完了																					
建設課	移住、定住支援の推進	<p>●住宅新築・改修支援事業</p> <p>住宅新築や住宅リフォームを支援し、移住・定住を推進する。</p>	補助金累計交付件数（リフォーム）	50件	80件	110件	130件	150件	<p>【R3実施結果】</p> <p>①移住・定住住宅改修補助金（リフォーム補助金） 300,000円ほか×35戸≒10,277,000円</p> <p>②移住・定住支援住宅新築補助金（住まい応援事業） 1,000,000円×9戸=9,000,000円 200,000円×1戸=200,000円（上乗せ分）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・住民ニーズを反映した住宅支援事業であり、移住・定住に効果がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>住宅リフォームや新築の支援事業を継続し、移住・定住を推進する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
			15	15	15	10	15	70/75													
60件																					
補助金累計交付件数（新築）	50件	57件	64件	71件	78件																
52件																					

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
福祉課	出会いの場の提供	<p>●結婚支援事業</p> <p>独身者に出会いの場の機会創出や結婚に関する情報の提供を行い、移住・定住の促進につなげます。</p>	マリッサとくしまマッチング会員登録数	30人	30人	30人	30人	30人	<p>【R3実施結果】</p> <p>登録者 1名 成婚報告 0人</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>45/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・結婚を機に町内への移住・定住促進し、人口減少等への問題解決に繋がっている。 ・結婚支援の専門である、マリッサとくしまと連携し、町で登録料を補助している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>マリッサとくしまの会員登録数者の増加を図るため、ホームページ等で情報発信をしていきたい。今年度、勝浦町内でのイベントを計画している。実施できるよう取り組みたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	15	10	10	0	45/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	15	10	10	0	45/75																
1人																					
企画交流課	空き家対策	<p>●空き家活用による移住促進事業</p> <p>町内の空き家を移住希望者に紹介することで、町への移住を促進する。</p>	新規調査物件数	5件	5件	5件	5件	5件	<p>【R3実施結果】</p> <p>空き家調査数 2件 新規登録物件数 3件</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・民間賃貸が少ないので空き家の利活用による移住施策は有効 ・賃貸または売買成立／活用可能物件 33件／47件 活用率83% (平成27年度からの通算登録物件50件、うち売買7件)</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>有効な空き家の掘り起こしと活用で移住者の増加や空き店舗の解消を目指すとともに、空き家になる前からアプローチを行う。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	15	15	65/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	5	15	15	65/75																
2件																					

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	空き家対策	<p>●老朽危険空き家除却支援事業</p> <p>老朽危険空き家等の除却費用の一部を支援することにより、空き家の放置を抑制し、地域住民の安全を確保する。</p>	危険空き家に対する情報提供・助言・指導件数累計	10件	20件	30件	40件	50件	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家判定業務 25,460円×13件＝330,980円</li> <li>老朽危険空き家除却補助金 10件 7,818,000円</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報・HPや区長会で情報発信し除却を推進している。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>特定空家等認定基準を定め、必要に応じて認定し対策を進める。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	5	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	5	15	65/75																
13件																					
建設課	住宅の耐震化	<p>●木造住宅耐震事業</p> <p>地震発生時の被害を軽減するために住宅の耐震化【減災化】を推進する。</p>	戸別訪問戸数累計（耐震診断・改修推進）	100件	150件	200件	250件	300件	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別訪問（県・町）200戸</li> <li>耐震診断 40,800円×15戸＝612,000円</li> <li>耐震補強計画 61,200円×14戸＝856,800円</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>45/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報・HPでの情報発信や戸別訪問による推進。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>個別訪問による推進の継続 支援制度見直しを検討：補強計画をベースとした実施計画費用の支援 高齢世帯等には減災化（家具固定等）</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	10	0	45/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	5	10	0	45/75																
200戸																					

## 基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	消防救急体制の充実	<p>●広域消防化</p> <p>将来にわたり消防力の維持・強化を行っていくため非常備消防の解消を目指す。</p>	広域常備消防化	協議	協議	協議	協議	協議	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月通信指令センター高度化検討会出席</li> <li>8月県東部地域における消防体制のあり方検討会作業部会出席</li> <li>12月勝浦町常備消防化推進協議会開催</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・非常備消防である本町において、将来にわたって消防力の維持・強化を図るため必要不可欠</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>県と連携を図り、関係市と協議を重ねるとともに、推進協議会により、住民意識の高揚を図り、広域化へと繋げたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	15	10	0	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	15	10	0	50/75																
協議																					

### 基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	ブランド化の推進	<p>●阿波かつうらブランド化事業</p> <p>地域固有の資源を活用した商品・サービスの高付加価値化による地域ブランドづくりをすることで、地域経済の活性化を図る。</p>	商品開発数	10品	10品	5品	5品	-	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特産品開発講座参加者 15人</li> <li>阿波かつうら商品 8事業者11品（デザイン等の費用を半額自己負担）</li> <li>道の駅店舗指導及びオリジナル商品開発（恐竜クッキー）</li> <li>観光資源調査</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・商工事業者への支援充実に有効</p> <p>・販路開拓などの販売促進にかかる長期的な支援と体制構築が必要</p> <p>・事業者自らの意識向上を促すためには受益者負担は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 R6まで</p> <p>単年度でできることは限られているため、R4から地方創生交付金を活用し、3年計画で事業を実施し、商品開発後の販売促進支援を行う。また、事業者自らが活動するための支援体制や推進組織を構築する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	15	10	15	10	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	15	10	15	10	60/75																
11品																					
農業振興課	ブランド化の推進	<p>●大阪市場販売戦略展開事業</p> <p>大阪市内において2月・3月は、「阿波かつうら」「勝浦熟成みかん」の時期であるという消費者の認知度を向上させる</p>	勝浦みかん販売店舗数	30店舗	30店舗	40店舗	50店舗	50店舗	<p>【R3実施結果】</p> <p>①裏年のため供給量が不足するので広告期間を2週間から1週間に短縮、広告駅も3駅から1駅に減らした。③販売促進用アイテム（幟、ギフトボックスなど）の作成</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>35/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・阿波かつうらブランドの一環として取り組む</p> <p>・駅広告事業は、大阪駅に限っても1日に50万人以上が利用するので目を引くデザインということが前提ではあるが有効</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>令和2年度は多くの店で店頭販売ができたが、令和3年度は供給量不足からできなかった。JA・販売店との間で出荷計画が話し合えなかった結果なのでこの点を改善したい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	5	10	0	35/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	10	5	10	0	35/75																
0																					

### 基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
農業振興課	6次産業化の推進	<p>●6次産業化推進事業</p> <p>オレンジファクトリーを営業許可基準充足施設化し、営業許可取得者を増やし、地場産品を活用した商品化を目指す。</p>	営業許可取得者数	1者	1者	1者	1者	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>R4.3月：営業許可施設基準充足 商品開発・まんまいも（さつまいも真空パック）・ドライベジ（乾燥野菜）・みかんジャム</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・コアな利用者は一定の成果（商品開発販売）へ繋がっているが、まだ一部の利用者しか有効性を示せていない。</p> <p>・指定管理委託先が自ら商品化を進めてくれて、効率的な運用ができています。</p> <p>・公平性ある設備であるが、十分に施設の周知が図られておらず、現状では利用者に偏りがある。</p> <p>・オレンジファクトリーを活用して3商品開発できた。</p> <p>【今後の方向性】R6まで</p> <p>令和3年度中に営業許可施設体制が完了し、令和4年度からは製造販売可能な施設となったため、施設周知を強化し、営業許可取得者が当施設で商品化に注力できる体制を整えていきたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	15	5	15	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	15	5	15	60/75																
営業許可取得者数	1者	-	-	-	-	-															
企画交流課	関係人口の増加	<p>●かつうらみらい創生事業</p> <p>住民の考える住みよいまちづくりの思いや提案を実現させることで、協働のまちづくりを行う。</p>	採択数	1件	-	-	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>採択数 0件</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>25/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・住民が町の活性化のために行う事業に対し、そのイニシャルコストを補助することは妥当である。</p> <p>・年々申請者数が減少してきており、それに付随して採択数も減少している。</p> <p>・町内団体が対象とし目的と合致する。成果品数は過去5年間で16事業。</p> <p>【今後の方向性】R3まで</p> <p>第1期の総合戦略事業で、現在も継続している事業がほとんどであるがコロナ禍で状況は変わってきた。</p> <p>既に当初の目的は達成されていると考えるため、令和4年度から事業募集は行っていない。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	0	0	10	5	25/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	0	0	10	5	25/75																
採択数	0件	-	-	-	-	-															

### 基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	関係人口の増加	<p>●若者の地方体験交流事業</p> <p>都会の若者や学生を受け入れ、インターンシップやフィールドワークを通じて地元住民の交流や関係人口の増加を目指す。</p>	受入人数	14人	15人	15人	15人	15人	<p>【R3実施結果】</p> <p>例年行ってきた東洋大学のインターンシップ受入れや日本大学のフィールドワークはコロナ禍で中止。一部オンラインで活動。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>25/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・コロナ禍で学外での活動制限で令和2年から3年にかけては事業が縮小している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>日本大学は徳島県の協定で、ふれあいの里さかもとへサテライトキャンパスを設置し活動することが決定しており令和4年度から本格的に活動が始まっていることから町も協力を行う。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	5	0	5	0	25/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	5	0	5	0	25/75																
0人																					
農業振興課	農業経営の支援	<p>●みかん収穫求職者向け広報事業</p> <p>勝浦町の基幹産業である柑橘栽培における季節性労働力の確保</p>	求職者数	15人	20人	25人	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>4月：JAと計画協議 9月：広告を展開</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・昨年度の取り組みにより、求職者は10名→31名、受入農家は7件→10件となったので効果があったと考える。</p> <p>・事業計画の段階からJAと共同で取り組むことで、効率的な事業実施ができていると考える。</p> <p>・みかん農家限定の施策である</p> <p>【今後の方向性】 R5まで</p> <p>初年度は想定以上の効果があったが、マッチング農家の増加に課題を残した。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	10	15	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	10	10	15	60/75																
31人																					

### 基本目標 3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
企画交流課	企業誘致の推進	<p>●サテライトオフィス等誘致業務委託料</p> <p>サテライトオフィス等の進出による関係人口・移住者の増加及び地域の活性化</p>	マッチング回数	3回	3回	3回	3回	3回	<p>【R3実施結果】</p> <p>視察受入企業数 4件（補助金制度利用分）                      マッチングイベント参加件数 3件（県主催）                      ※新型コロナ感染拡大のため1回中止となった。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>40/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・徳島県と一緒にサテライトオフィス等の誘致に取り組んでいるため、相乗効果による成果の向上につながっている。                      ・地方へのオフィス展開を検討する企業は増加傾向にあるものの、コロナ禍による移動制限によりリアルな打合せ、マッチング、視察が中止になり当初想定の効果は得られていない。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>新型コロナ感染症拡大の影響により都市部企業側から地方への視察に抵抗を感じていたが、年度後半に目標数である4社の受入を行うことができた。視察企業含め引き続きサテライトオフィス進出検討企業と交渉を行う必要がある。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	15	5	5	5	40/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	15	5	5	5	40/75																
マッチング回数	3回																				
企画交流課	新たな産業の振興	<p>●杉の子支援事業</p> <p>地域の特性を活かしたビジネスや企業を誘導するとともに、創業者・創業希望者を支援することで商工業の振興を図る。</p>	創業支援関係補助金利用者数	1人	1人	-	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <p>補助金交付3件</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町内の商工活性化のために、新しく事業を始める人への支援は有効である。                      ・事業の種類や規模により、期待する雇用の確保には至らない場合がある。                      ・見込み以上の相談件数があり、3名起業となった。</p> <p>【今後の方向性】 R4まで</p> <p>財源となる杉の子基金が残りわずかとなったことから、令和4年度は補助枠1件に縮小して実施。                      令和5年度以降について事業見直しを予定。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	10	10	15	65/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	10	10	15	65/75																
創業支援関係補助金利用者数	3人																				

### 基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	町の魅力の醸成	●イベント開催支援事業  イベント主催団体に対し補助金を交付することで、イベントを継続させるとともに、勝浦町の観光の振興と観光客の増加を図る	補助金申請件数	5件	5件	5件	5件	5件	<p>【R3実施結果】 勝浦町観光振興事業助成金 1件交付。 勝浦町地域活性化対策事業費補助金 1件交付。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・申請件数の目標数達成にはならず、また新規のイベントなどの醸成などは困難な状況である。団体の後継者問題が影響していると考えられる。</p> <p>【今後の方向性】 イベントを継続するために補助金交付は有効と考えるが、新たなイベントの醸成やイベント団体の存続についても検討する必要があると考える。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	15	0	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	10	15	0	50/75																
2件																					
企画交流課	町の魅力の醸成	●インバウンド受入事業  観光客受入環境整備等を行い、インバウンド誘客を図る	情報発信回数	12回	12回	12回	12回	12回	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝浦町観光情報サイト「阿波かつうら」から観光情報の発信</li> <li>徳島県、イーストとくしま推進機構と連携し、外国人向けSNSサイトでの情報発信</li> <li>地域の魅力発信事業（外務省）を活用して中国に観光PR動画（英語版）の発信</li> <li>徳島県主催の観光商談会にて参加旅行会社6社と商談</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>40/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響による行動制限より、主要観光施設の利用者数増加につながらなかったと想定される。</p> <p>【今後の方向性】 新型コロナ感染症拡大の影響により観光入込客数が伸び悩んだが、引き続き積極的な情報発信を行い、アフターコロナの観光需要回復後の効果を期待する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	5	5	40/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	10	10	5	5	40/75																
80回																					

### 基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
企画交流課	町の魅力の醸成	<p>●映えるフォトスポット事業</p> <p>観光資源の再確認と、観光・交流人口の増加を図る</p>	フォトスポット（累計）	2箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	<p>【R3実施結果】</p> <p>フォトコンテストの実施 応募13案                      フォトスポット設置（発掘） 1カ所                      ・道の駅トイレ壁面</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・フォトスポット単体では効果があまりないため、イベントを絡めるなど効果的な内容とすることが必要                      ・現状では予算投入しての建造物作成には効果が期待できないため、発掘を中心とした0予算での実施が妥当と考える。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>フォトスポット設置の有効性を上げるため、町内回遊のための観光事業やイベント事業に併せて行うことを検討する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	15	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	10	15	15	65/75																
1箇所																					

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
税務課	介護予防・日常生活支援の推進	<p>●高齢者の保健事業（生活習慣病重症化予防・フレイル予防等）</p> <p>高齢者の健康寿命の延伸（生涯現役）、社会保障費の伸びの抑制を図るために行う。</p>	高血圧未治療者（中断者含む）の受診勧奨実施率（75～79才）	80%	80%	80%	80%	80%	<p>【R3実施結果】</p> <p>（1）事業の企画調整、地域の健康課題の把握</p> <p>（2）保健事業の実施</p> <p>①個別支援（ハイリスクアプローチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防 22名</li> <li>・生活習慣病重症化予防 10名</li> </ul> <p>②通いの場等への関与（ポピュレーションアプローチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育、健康相談 21回 57名</li> <li>・フレイル状態の把握 2回 32名</li> <li>・気軽に相談できる環境づくり 21回 5名</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2第1項の規定により、広域連合が町に高齢者保健事業の一部を委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康課題の分析、対象者を明確化することで心身の多様な課題に対応したきめ細やかな保健指導につなげている。</li> <li>・管理栄養士（専門職）を確保し、正規職員と正規職員以外で現場対応等を実施している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、ポピュレーションへの参加者が減少した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況ではあるが、高齢者が安心して参加できる環境づくりが必要である。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
80%																					
福祉課	介護予防・日常生活支援の推進	<p>●介護予防・日常生活支援の推進</p> <p>高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活が送れるよう、健康づくり、介護予防を推進</p>	いきいき元気教室参加者数（延べ人数）	180人	180人	180人	180人	180人	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操 実施回数 10回（コロナで2回中止） 参加者数 のべ45人</li> <li>・いきいき元気教室 実施回数12回 参加者数のべ200</li> <li>・高齢者の保健事業 実施回数1回 参加者数8人</li> <li>・地域介護予防活動支援事業 実施日数10日 参加者数のべ200</li> <li>・健康福祉まつり 開催日R3.10.16 参加者数38人</li> <li>・高齢者健康づくり推進事業 利用者数のべ2,294人</li> <li>・通所型介護予防事業 利用者数のべ387人</li> <li>・訪問型介護予防事業 利用者数のべ6人</li> <li>・教室案内チラシ</li> </ul>												

## 基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
	介護予防・日常生活支援の推進							<p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者が自分にあった介護予防事業に参加できるよう、複数の内容の異なる介護予防事業を行っている。          ・委託事業については、経費、人材面において町が直接実施するより効率的である。          ・対象者は事業毎に明確にしており妥当である。また広報で参加者募集、事業の案内を行っている。昼食や教材を提供する事業（高齢者健康づくり推進事業、通所型介護予防事業、イキイキ元気、パワーアップ）については、利用料を徴収している。          ・コロナ禍の影響もあったと思うが、参加者のべ人数がR2と比較し減少した。          R2 218人→ R3 200人</p> <p>【今後の方向性】          介護予防事業として必要な事業である。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75	
目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計																
15	15	15	15	10	70/75																
福祉課	地域子ども子育て支援の充実	<p>●はぐくみクラブ運営事業</p> <p>住民の主体的な活動又はその参加により地域の子育て支援を充実させる。</p>	利用者数（延べ人数）	576人	480人	480人	480人	480人	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子ヨガ教室</li> <li>知育遊びわかばちゃんタイム</li> <li>ベビーマッサージ教室</li> <li>季節のイベント</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・核家族化、転入などで身近に相談できる人がいない家庭や、育児不安や悩みを相談できる場、仲間づくりの場の提供に繋がっている。          ・はぐくみクラブ補助金等活用し、お母さん達で協力しながら運営を行ってきたが、運営を行うことが厳しい状況で、町で運営を行っていただけなのか？との相談がある。小さな子どもを育児しながら運営（役員）を行うには負担が大きくなっている。          ・新型コロナウイルス感染防止のため、開催日数は減少したが、相談できる体制の確保はできた。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	10	10	5	55/75
目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計																
15	15	10	10	5	55/75																

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
								<p>【今後の方向性】</p> <p>少子化や、低年齢から保育園入園する傾向にある現状で、お母さん達が主体となりはぐくみクラブ運営を行うことが難しい状況となっている。子どもを育てるすべての家庭に対し、子育ての不安や孤立感を軽減するため、情報提供や相談機能の確保、保護者同士の交流の場造りは必要であり、令和4年度は、はぐくみクラブを継続しながら、子育て交流支援センターでの事業として町も運営に協力している。今後は、指定管理者選定時に事業委託を検討する。</p>													
企画交流課	勝浦病院の機能向上	●医師確保事業	医師確保	1人	1人	1人	1人	1人	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介コンサルタントからの紹介による実績として令和4年2月、3月の2か月間、非常勤医師を確保</li> <li>常勤医師は以前面接した医師からのアプローチによる採用を行ったが、7月から10月までの短期間雇用となった。</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師確保は病院における最重要な課題であることからあらゆる手段を講じることは妥当</li> <li>非常勤医師から常勤医師の確保へ向けての取り組みが必要。</li> </ul>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	10	5	50/75
		目的の妥当性		事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	10	10	5	50/75																
		勝浦病院の医師の高齢化が進む中で次世代の医師確保を目指す。	0人					<p>【今後の方向性】</p> <p>令和4年度からは医師確保の予算は勝浦病院で予算化。住宅の紹介など後方支援を行う。また「勝浦の地域医療を考える会」との連携により住民に対する地域医療への理解を深めるPR活動を引き続き行う。</p>													
総務防災課	救急医療体制の充実	●救急医療体制の充実 診療時間外での救急医療体制の確保	救急救命士乗車率	100%	100%	100%	100%	100%	<p>【R3実施結果】</p> <p>出動件数 278件 救急救命講習件数 12件</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計																
15	15	15	15	15	75/75																

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
				100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>救命士は常時2人出動できる体制になっており、救急救命業務は十分に実施されている。</li> <li>非常備消防のため外部委託している。</li> <li>平均現場活動時間は12.6分で、令和3年の全国平均13.3分よりも短く、迅速に判断して救急搬送が実施されている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】 委託費などは都度日本救急システムと協議しつつ、事業は継続する。</p>													
税務課	特定健診受診率の向上	<p>●特定健診受診率の向上</p> <p>健康（健診）・医療情報を活用して、PDCAサイクル沿った効果的かつ効率的な保健指導に取り組み、生活習慣病をはじめとする被保険者の健康増進により医療費の適正化、および財政基盤強化を図ることを目的とする。</p>	特定健診受診率	60%	65%	65%	-	-	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の実施 受診者数386名 (集団 R3.5～6月 町内8カ所 個別 R3.7～R4.1 県内医療機関)</li> <li>未受診者対策 ヤング健診の実施 受診者数13名 未受診者への受診勧奨 個別通知585名</li> <li>特定保健指導 保健指導数314名</li> <li>生活習慣病重症化予防 103名</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	15	10	70/75																
			46.43% (見込)					<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者の健康増進により、医療費の適正化、財政基盤強化を図ることは、保険者の責務である。</li> <li>保健指導の対象者は健診結果から各治療ガイドラインに基づき選定して実施しており、重症化予防につながっている。</li> <li>管理栄養士（専門職）を確保し、正規職員と正規職員以外で現場対応等を実施している。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあり、特定健診受診率は目標値には達しなかった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況ではあるが、安心して受診できる環境を整備し、受診率向上を目指す必要がある。</p>													

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
総務防災課	行政の災害対応能力向上	<p>●行政の災害対応能力向上</p> <p>平時から、災害被害を未然に防ぐ防災及び災害被害を最小限に抑える減災に対する取組意識の向上と、災害時における対応能力の向上及び環境整備</p>	災害対応関連の資格取得率	52%	59%	66%	73%	80%	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災監を9月から雇用</li> <li>・1月、職員に対し、初動対応マニュアルの説明を行った。参加人数70名</li> </ul> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・本町は消防非常備であり、地域防災マネージャーの資格を持つ専門家が職員にいることは、目的達成につながっている。</p> <p>・成果目標としての資格取得率向上に、現時点ではつながらなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>本年度の年度途中に防災監を雇用し、今後、効果が期待できる。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	0	60/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	0	60/75																
45%																					
総務防災課	地域、住民の防災意識の向上	<p>●災害に強い勝浦町事業</p> <p>大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進すること。</p>	防災講習会の開催回数	2回	2回	2回	2回	2回	<p>【R3実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップ説明会を実施</li> </ul> <p>勝浦町16行政区中、13行政区に対して1回9月下旬～11月下旬までに実施した。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・最新のハザードマップを確認し地域の状況や住民自身が住んでいる場所がどうなっているのかを認識してもらうことにより安心安全につながっている。</p> <p>・職員が説明会を開催することにより住民からの信頼効果を得ることができると同時に各地区の災害に関する課題やニーズを得ることができる。</p> <p>・達成目標としている全地区2回の開催はできなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>住民にマイ・タイムラインの作成を広めていくなかでハザードマップへの意識向上が期待できる。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	5	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	5	65/75																
1回																					

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
総務防災課	防犯活動の推進	<p>●防犯活動の推進</p> <p>地域の中で起こりうる犯罪を防止するため、犯罪が発生しにくい環境を整備することで、安心して暮らせる地域社会の実現を図る。</p>	防犯カメラの設置	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	3箇所	<p>【R3実施結果】</p> <p>自主防災訓練補助金 定額40千円×15団体 その他 講習会講師謝金30千円×1回、炊出し訓練等需用費</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・施設管理のみならず、防犯や周辺の動き、人の出入りなどの確認に有効であり、今後、町施設への設置を進めていく。 ・記録映像の個人情報等の問題がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>防犯上、犯罪抑止や原因究明等に有用であり、引き続き設置を進めていく。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	10	15	70/75																
2箇所																					
住民課	交通安全活動の推進	<p>●交通安全推進事業</p> <p>交通安全に対する意識を普及し、交通安全を促進する。</p>	啓発実施団体への補助金交付	4件	4件	4件	4件	4件	<p>【R3実施結果】</p> <p>各団体による交通安全啓発活動 交通安全協会生比奈分会、交通安全協会横瀬分会、生比奈交通安全母の会、横瀬交通安全母の会</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各団体が交通安全啓発の活動を行っている。 ・3年度に交通死亡事故は発生していない。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>町内交通死亡事故ゼロ2000日の達成に貢献している。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
4件																					

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
住民課	消費者保護の推進	●消費者保護対策事業 消費者被害の未然防止や拡大防止を図る。	消費者研修会の開催	1回	1回	1回	1回	1回	<p>【R3実施結果】 協議会・研修会開催、啓発記事掲載</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・研修会（約70名参加）、広報掲載（年間4回）、冊子等の配布（新聞折込）により、消費者被害の未然防止を図った</p> <p>・消費者被害なし。</p> <p>【今後の方向性】 消費生活センターとの連携や各種団体との協働により消費者被害の啓発・予防を図る必要がある。住民の集まりに出張し啓発に努めたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
1回																					

基本目標5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
企画交流課	住民参画・協働によるまちづくりの推進	<p>●特定地域づくり事業協同組合事業</p> <p>人口減少による担い手不足の解消と雇用の場の提供による移住者の増加で地域の課題解決を目指す。</p>	特定地域づくり事業協同組合設立と運営	設立と継続	設立と継続	設立と継続	設立と継続	設立と継続	<p>【R3実施結果】</p> <p>令和3年度においては、県内先行事例の三好市への視察、県や中小企業団体中央会への協議を行った。 基本的な組織体制図はできたものの、人材の手配が課題として残った。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各方面との調整や人材の確保に時間を費やし令和3年度での組合設立はできなかった。（視察、各方面への協議回数9回）</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>組織体制の人材に条件があるため条件にあう人材確保と組織体制づくりを進める。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	0	55/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	10	0	55/75																
協議																					
住民課	男女共同参画意識の形成	<p>●男女共同参画事業</p> <p>男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「勝浦町男女共同参画計画」を策定する。</p>	勝浦町男女共同参画基本計画策定（3年）研修会等開催（4年～7年）	100%	1回	1回	1回	1回	<p>【R3実施結果】</p> <p>計画策定</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外部委託し、町民意識調査を行い計画を策定した。 ・町民意識調査を行い現状が把握</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>勝浦町男女共同参画計画をもとに研修会等を年間1回以上開催する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	10	10	50/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	10	10	10	10	50/75																
	100%																				

基本目標5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
住民課	広聴機能の充実	<p>●広報広聴モニター事業</p> <p>住民と行政が町政の情報を共有しながら相互理解を深めるとともに、住民の町政への参画を促し、連携・協働によるまちづくりをより一層推進する</p>	住民アンケートの実施	3回	3回	3回	3回	3回	<p>【R3実施結果】</p> <p>アンケート実施</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町民の意向調査し、町政に反映していくために必要</p> <p>・今年度は、アンケートシステムの導入費用が掛かったが、導入したことにより多くのアンケートを実施していくことができる。</p> <p>・アンケート回答者は広報及びホームページで募集</p> <p>・アンケートシステム導入に時間がかかり、アンケート実施が1回（町の広報事業について）しかできなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>町民の意見聴取の方法のひとつとして有効であると考え。スムーズな実施の検討が必要である。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	15	5	55/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	10	15	5	55/75																
1回																					